

緊急要望書

平成30年11月21日

関西国際空港連絡南ルート等早期実現期成会

平成30年9月に発生した台風21号の影響により関西国際空港連絡橋が被災し、訪日外国人を含め多くの方々が空港島内に孤立するという事案が生起いたしました。

また、浸水によって地下設備にも大量の海水が流れ込み、電源をはじめとするライフラインが完全に停止するなど、過酷な状況での孤立を余儀なくされたものであります。

これらの事案に関しては、国土交通省のほか多数の関係機関や関係者の御尽力により迅速に仮復旧できたところであり、厚く御礼申し上げます。

しかしながら、関西国際空港へのアクセスにつきましては、海上空港という特性に起因するあらゆる危機や国際テロ等による緊急対応事態を確実に回避するとともに、空港利用者や空港関係者の安全を確保しつつ、被害を最小限に留めるリスクマネジメントや関西経済全体に及ぼす影響の観点からも、複数の空港アクセスルートによって構築することが可及的速やかに必要であります。

つきましては、関西国際空港と内陸部を結ぶもう一つのアクセス〔南ルート〕の早期具体化を図られるよう、あらためて強く要望するものであり、本期成会の趣旨と熱意を御理解いただきますとともに、格段の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月21日

関西国際空港連絡南ルート等早期実現期

